

4 長時間勤務の改善について

ここ数年、各学校においては会議の見直し、事務処理の省力化など多忙化解消のための取組が多く見られるようになってきています。多忙化解消は、教職員の心身の健康に大きく寄与し、日々の教育活動充実はもちろん、一人一人の子どもに教員が向き合う時間を確保するとともに、不祥事や学校事故の防止にもつながります。

各学校での創意と工夫ある取組が見られる一方、学校によっては未だに長時間勤務も見受けられ、改善が必要とされています。

以下の項目をチェックしてみましょう。

- 毎日の出勤時刻をしっかりと記録し、日々の退勤時刻、体調等を確認し声かけを行っているか。
- 仕事が特定の人に集中しないように工夫しているか。集中した場合のサポート体制は整備されているか。
- 限られた時間の中で効率よく仕事を進める工夫をしているか。(長時間勤務が仕事熱心ではない)
- 個人的な「こだわり」で勤務時間が長くなっていないか。(本当に必要な業務か常に見直しを行う)
- ノー残業デー、リフレッシュデーなどの工夫がなされているか。年休は取得しやすいか。

学校における業務の適正化に向けて（通知）

(平成28年6月17日文科初第446号)【概要】

- 学校が抱える課題が複雑化・困難化する中、教員の長時間労働の実態が明らかに。
- これからの時代を支える創造力をはぐくむ教育へ転換し、複雑化・困難した課題に対応できる「次世代の学校」を実現するため、教員が誇りや情熱をもって使命と職責を遂行できる環境へ。
- 教員の長時間労働の状況を改善し、教員が子どもと向き合う時間を確保するための改善方を提案。

【参考】

「学校運営の効率化」については福島県教育庁職員課のHPに掲載されています。他校の取組を参考にし、さらなる学校運営の効率化に努めましょう。

- 学校運営の効率化のための取組事例集
 - ・取組事例集～小学校編～
 - ・取組事例集～中学校編～
 - ・取組事例集～高等学校編～
 - ・取組事例集～特別支援学校編～
- 学校運営の効率化のための取組事例集Ⅱ
 - ・取組事例集Ⅱ～学校運営の効率化のための実践レポート集～
- 学校運営の効率化のための実践レポート集活用状況等調査結果
 - ・調査結果(平成26年9月 多忙化解消ワーキンググループ)
- 学校運営の効率化のための取組事例集Ⅲ
 - ・取組事例集Ⅲ～学校運営の効率化のための実践レポート集Ⅲ～

「教職員多忙化解消アクションプラン」については福島県教育庁職員課のHPに掲載されています。

- 教職員多忙化解消アクションプラン(平成30年2月9日)
※平成30年2月15日更新 ※平成30年3月4日更新

- 学校における働き方改革 ～取組事例集～ (文部科学省)
※令和2年2月 文部科学省HPに掲載

https://www.mext.go.jp/content/20200220-mxt_zaimu-000005095_1.pdf